



奨学金について

高校や大学、専門学校にかかるお金は誰が払うのでしょうか？中学校までは、保護者や国が「子どもが学校に通えるよう環境を整える。」という義務があります。中学校卒業以降は違います。そう考えると皆さん自身が進学にかかるお金を払うのもありですね。でも、現実的に学業との両立はかなり難しいので、選択肢として表れるのが「奨学金」です。

奨学金は皆さん自身が進学にかかる学費や生活費を支援してもらうもので、下記の2つがあります。中学校では、貸与型奨学金である育英会奨学金のみポスターなどとおして募集をかけます。詳細が必要な方は担任の先生まで相談してください。

- 給付型奨学金・・・返済の必要がない。
- 貸与型奨学金・・・返済の必要あり。就職後に分割で返済していく。

育英会以外の情報が欲しい方は、「奨学金検索サービスCanpass」の案内を添付しますので、それを活用するのもいいですね。

「シンガク図鑑沖縄」で検索

沖縄の高校生のために作られた図鑑が贈呈されました。まだ中学生の皆さんですが、情報は武器なので紹介します。3年フロアに1冊置いておきます。また、Webでの閲覧も可能です。

「なぜ？なに？奨学金」は、奨学金を得るための方法や、失敗談、奨学金の紹介などが分かりやすくまとめられています。

大学進学を考えているなら

大学進学の方法に1つに推薦があります、その推薦にもいろいろ種類があり、実は条件のよい推薦は高校1年生から意識した準備が必要になります。

「入試制度」「高校生活での注意点」なども分かりやすくまとめられていました。要チェックです。



「おきなわの専門学校&各種学校」で検索

高校卒業後は大学ではなく専門学校への進学を考えているかたへのおすすめの本も贈呈されました。

就職に結びつく、自分にあった専門学校選びをサポートしています。また、魅力的なキャッチフレーズで展開する無認可の学校もおおいらしく、そこに振りまわされない選び方なども紹介されています。

こちらも1冊3年フロアに掲示します。また、Webでの閲覧も可能です。

